

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3680  
16年8月19日(金)  
・Fax 095-828-1953

# 天皇と国の紀元で神話と史実考

おはようございます。

八月十五日は終戦記念日でした。七一年前のこの日、昭和天皇がラジオ放送で敗戦を告げ、戦争が終わりました。国家元首としての最後の天皇でした。

いま、現天皇（今上天皇）の生前譲位が出ています。象徴天皇としての立場の「声明」です。天皇制への賛否はいろいろですが、世界の二百の国のうち三分の一は王政ですが多くは共和制で王政や皇室制度を廃止しています。人間の身分には貴族も平民もなく貴賤もないのですから。



日本では明治維新から天皇制を万世一系として、神話も

ふくめた二六〇〇年間、二四代の歴史としますが、人はみんなに親（先祖）があり、歴史的なつながりを持ち、一系です。

象徴天皇制の流れは昭和天皇の人間宣言でした。戦後神ではなく人間であるという宣言が出て、現行制度ができます。象徴天皇の制度の対極には、国の基本が国民主権であるという憲法の規定が明記されます。



さらに人間宣言ですが、「天皇と国民は信頼と敬愛で結ばれた関係で、天皇は神話の上に非ず」と、自らが神話ではなく、歴史的な人間であると明言したことです。

天皇と国の紀元です。わが国の最古の歴史書は西暦七二一年に書かれた「古事記」です。そのあと、わずか八年後の七三〇年に「日本書紀」が書かれます。この時期になぜ二つの歴史書が出たのか。それは古事記が和文で書かれたことから国内向け、日本書紀

が漢文で書かれていることから、国際社会に向けての歴史書だと思われる。

しかし、古事記には初代天皇の神武天皇の即位の年号などが明記されていなく、日本書紀に初めて神武天皇の即位を「辛酉の年、春正月庚辰朔」としたことに始まります。これは当時の中国や朝鮮の歴史書が年号を書いていることを踏まえてのことだとされています。

これが正しいとすれば、即位は西暦でいうと、紀元前の六六〇年であるといわれます。しかし、これは干支などの計算方法による紀元説ですが、事実上は六〇〇年ほど長く数えていることから、それぞれの天皇が一四〇歳だとかの長寿になって無理が生じます。



それが国の紀元だとすれば、史実が求められませんが、中国や朝鮮の歴史書によれば、（これ以外に文字で書かれた歴史は存在しないので）すから、実際は西暦でいうと百年前後が正しいと思われるが、神話でいう紀元節は論拠がなく、歴史は正しく書かれ

るべきだからです。（歴史はいつ始まったか）（中公新書 数内清）などを参考に。

天皇と元号の問題です。現在は一天皇に一元号ですので、退位後は元号も変わります。日本で最初の元号は大化で西暦六四五年です。のちの天智天皇（第三八代）となる中大兄皇子が蘇我入鹿を暗殺し、実権を握るクーデター「乙巳の変」のときの相棒が中臣（藤原）鎌足で、のちの藤原家の始祖で、世にいう大化の改新です。以来、一四〇〇年間で元号は三六回も変わりました。

しかし、この元号の中に平成の「平」という漢字が頭につく元号は一一六〇年の平治のみです。平治とは文字通り平家が治めた時代ですが、このときに内乱がおきます。源氏と平家が戦い（平治の乱）、平清盛が勝利し、平家絶頂期でした。しかしこの平治時代はこの乱により、わずか八か月間で終わります。以来日本史には「平」が頭につく元号は皆無でした。



よつに平成の元号の中に

その理由はなぜか？江戸期

の一八二七年に書かれ、幕府の官学の歴史書である「日本外史」（頼山陽）には、天皇の権威を奪い、政治を私したのが藤原家であり、また武力で天皇の権力を奪った武家の最初は平清盛だと書かれています。



だから皇室が武家と対立して以降は、元号に平家の「平」という漢字を避け、鎌倉時代以降には使用しなかつたと推測されます。その源平の時代から徳川幕府の終わりまでの七百年間、武家政権が続き、天皇や公家らは政治的、経済的、軍事的実権がなく、名ばかりの貴族としての存在でした。

そして一八六七（慶応三）年の明治維新の王政復古で、明治天皇が元首となりますが、一九四五（昭和二〇）年の敗戦で、昭和天皇が神格を否定し、現行憲法上は国の統治権のない象徴天皇となります。現在の天皇は即位から象徴天皇制で、これは歴史的には初めてで、天皇におくられる元号も前代未聞でした。

（今日は裏面に続きます）

なぜならその名前の漢字に

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

天皇の実権を奪った武家の第一一人者の平清盛の『平』の字を使ったのですから。このように異例な『平』を使った元号をつけた竹下内閣と、内閣に教示した国学者の歴史認識はいかがだったのでしょうか。

ともあれ平成が始まり在位二八年です。さすがに高齢で、生前譲位という現行憲法や法にない退位を希望されたのでしよう。過去には生前譲位は多数ありましたが、天皇自身の譲位は自由だと思いません。憲法に規定される象徴天皇制の是非や制度の存続もふくめて、議論は必要です。

ところで天皇の継承にはその正当性の証として三種の神器が必要とされています。三種とは鏡、勾玉、剣です。神話の世界の伝承の神器です。



しかしこの三種の神器は壇の浦の合戦（一一八五年）のあり失われたとされています。平家一族の敗北のとき、ときの天皇の安徳天皇（平清盛の孫）を抱きかかえて入水した女官の腰に、この神器の剣が

さされていたからです。

これは鎌倉幕府の公的な歴史実記本『吾妻鏡』に明記されていますし、日本外史にも書かれています。ところがこの剣を現代も「保管」している



とされる伊勢神宮によると、このときの剣は偽物で、神社所有の剣が正当なものだといっているそうです（？）。

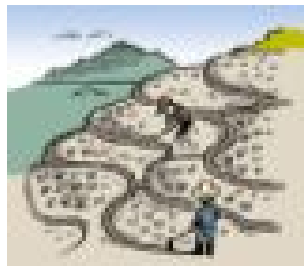
無論、これは秘蔵品で、事の真偽は不明です。第一の疑問は、天皇でも見られない品物を、一神官が「見た」ことは事実か。その上での真贋を決めたのはいかなる根拠に基づくのか。

次の疑問ですが、平清盛の娘が高倉天皇の妻で、安徳天皇の母親です。高倉天皇から安徳天皇への皇位継承権は三種の神器があれば、確実に存続します。そのため安徳天皇と平家一族は三種の神器を持って、京都から九州に逃れたのです。そのときの三種の神器が偽物

だとすれば、安徳天皇の継承権を否定し、歴史的にも論理が成り立ちません。

現にその合戦のときに箱に入れられて海に浮いていたそのほかの神器（勾玉と鏡）は源氏軍が回収し、その後の天皇に受け継がれたとあります（吾妻鏡、日本外史）。海底に沈んだ剣だけ「偽物」とは、成り立たない話です。（吾妻鏡は武家が書いた歴史だと批判はある）。

別の疑問です。品物は最初のものとは違っていても、皇室が持っているものが三種の神器だとする説もあるそうですが、そうならば、神器の特定性と継承性は失われ、一四〇〇年の皇室の史実の信頼性を失わせる、自己矛盾的な歴史観です。



また、伊勢神宮の宮司は、先の藤原家の係累で、藤原五撰家の一つの鷹司家です。この家も皇族と姻戚を結び、政治の実権を握った藤原一族の一つです。また先の細川首相も藤原家筆頭の近衛家（現在

も日本赤十字のトップ）のことで、歴史と人脈は千年も続いており、いまも撰閑制度や公家制度の名残は現実に続いています。

その意味でも神話と神秘性ではなく、事実としての歴史観が必要だと思います。